

# 会 議 録

<b>1 会議名</b>	令和3年度 第1回ひめじ創生戦略会議
<b>2 開催時期（意見聴取期間）</b>	令和3年5月28日～6月10日
<b>3 開催方法</b>	書面開催
<b>4 議題</b>	(1) ひめじ創生戦略の数値目標について (2) 地方創生交付金対象事業等の実施結果について (3) 今後のひめじ創生の進め方について
<b>5 傍聴人の定員</b>	なし
<b>6 傍聴手続きに関する特記事項</b>	新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催とする。
<b>7 主な意見</b>	詳細については別紙参照
<b>8 問い合わせ先</b>	姫路市政策局地方創生室 電話079-221-2832

委員	<p>(1) ひめじ創生戦略の数値目標について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルスの影響により、目標値を下回った未達成の指標が多いことは理解できるが、ウイズコロナの中で、どうやって目標の達成を目指すのかを検討していかなければならない。また分野によるが、諸制度について、認知度が低いものが多いと感じる。まず周知が必要ではないか。</li><li>・シルバー人材センターの会員減について、職種が現業職に限定されがちであるが、今後、何らかのスキル（緻密な作業、IT分野など）をもった方を活かすようにしないと、登録数の増加は見込めないと思われる。</li></ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルス感染症により、飲食、宿泊、観光関連産業への影響が、長期化、深刻化している。休業要請が終わった後に、抜本的な支援、改革が必要。特に商店街の空き店舗対策に力を入れる必要があると思う。リノベーションのまちづくりを進めるためにも、権利関係の調整などに市がもっと踏み込んだ対策をすべき。</li></ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・全体を通して、新型コロナウイルスの影響を受けて数値目標を下回っている指標があるものの、企業支援、安定した雇用、創業など効果をあげ、地域経済の下支えになっている指標もみられる。今後は、コロナ禍あるいはその後の社会を見据え、より人と地域に寄り添った施策に取り組んでいただきたい。</li></ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナに関連する仕事をしていて、特に非正規雇用が多い女性の就労支援は切実だと感じている。また、女性の方はなんとか自分でやりくりしようとするので、本来のニーズが見えにくい感じがする。雇用の減少は弱者にしわ寄せがきている。雇用促進対策の推進と多様な人材の就業支援は、特に重要だと思う。コロナ前の考え方では、今後通用しないことも増えてくるので、新しい価値観で、今までとは違う発想をしていかないと持続可能な計画にはならないと思われる。</li></ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"><li>・合計特殊出生率について、これからの時代少子化は避けて通れないよう</li></ul>

委員	<p>に思われる。少子化に備えて、広範囲にわたる都市機能から、「コンパクト・シティー」への都市機能の移設が必要不可欠。その意味で、姫路市文化コンベンションセンター、県立はりま姫路総合医療センター等を姫路の中心に建設したことの意味は大きいと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童数について、神戸市では「保育人材の確保」、「保育所利用定員拡大」を達成し、認定こども園の更なる整備を行った結果、令和2年4月1日時点で待機児童数52人、令和3年4月1日時点で待機児童数11人と激減している。姫路市の待機児童数が改善されていない理由として、市全体としては足りているが、住んでいる所に空きがないとのこと。ニーズのある地域に、定員拡充を含めた整備が必要。預けられる所が増えることは、女性の有業率も増加が見込まれると考えられる。</li> <li>・現在保育士等の確保の重要と言われているが、「大変な仕事」と敬遠されている。姫路市内で保育士等の免許が取得できる短大や大学が少ないため、保育士希望者が神戸方面に流出している。姫路が「子育てしやすい街」として出生数増加をつなげるためにも、姫路駅周辺に保育士免許が取得できる大学が必要。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生きがいきり活動への支援」が今後より重要になってくると思われる。コロナ禍により、出生数は80万人を割り込むことがほぼ確実で、少子化は10年分早まったと言われている。この流れを止めることはほぼ不可能と思われるが、兵庫県で今年策定した将来構想試案の中でも、人口減少＝衰退という発想を捨てて「人口が減っても活力を保ち、一人ひとりが幸せを実感できる兵庫を創る」としている。そのためには、“生涯現役”を名実ともに浸透させて、社会貢献や地域の担い手として高齢者が活躍できる社会づくりがより重要になり、福祉分野での生きがいきりから、市民活動分野、産業分野へ広げていくことが必要ではないか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路観光コンベンションビューロー「ひめみち」アクセス数について、2019年度末が他の項目に比べて急減しているように見えるが、この時期は新型コロナの影響はまだそれほど大きくなかったのではないかとと思われる。時代に合わせてページのリニューアル等は頻繁に行っているのでは</li> </ul>

委員	<p>うか。2015年度末に比べて極端に減少している点が気になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路観光コンベンションビューロー「ひめのみち」アクセス数」が2015年ピーク時と比して2020年は、1/4と激減している。コロナ禍以前から減少傾向が続いているので、コロナ以外の要因も多分に考えられ、その分析が必要ではないか。</li> </ul>
事務局	<p>姫路城が2015年3月にリニューアルオープンするにあたって、世界中からアクセスがあった。そのため、2014年度、2015年度は高い数値となっている。その後平常の数値に戻り、2018年度は世界遺産登録25周年記念として、イベント等を多く行ったため、やや回復したと思われる。2019年度より新型コロナウイルスの影響により、特に海外からのアクセスが激減したと推測される。</p>
委員	<p>(2) 地方創生交付金対象事業等の実施結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初目標に対する実績だけを見ると、これをもって「地方創生に効果があった」と認められる結果といいにくい。効果があった内容を示す必要がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により、目標値を下回っている事業が多く、新型コロナ禍あるいはその後を見据えて、創意工夫しながら引き続き取り組んでいただきたい。</li> </ul>
副会長	<p>(3) 今後のひめじ創生の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクリエひめじの活用等が記されているが、「イーグレひめじ」近辺の賑わいの施策も必要ではないか。その理由として、アクリエひめじとイーグレひめじの2拠点が賑わい、有効活用されればその動線となる御幸通り商店街も活性化され、大手前公園に面した道路の遊歩道化、オープンカフェ等ができれば、お城を見終えた後、足早に駅へと戻ってしまう観光客を引き留めて、コーヒーなど飲みながら姫路の風景を印象に残して帰っていただけるのではないか。特に海外からの観光客にとっては、オープンカフェなどは馴染みが深く気軽に利用できると思われる。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路市は面積が広く、地域によって環境が異なる。工業の発展も大事であるが、夜空や川の流れが美しい姫路にするため、あらゆる世代が地域ぐるみで行動し、「住みやすい姫路」「子育てしやすい姫路」につながる環境整備に取り組んでいくべき。</li> <li>・あらゆる世代が参画できる食品ロスなどのイベントや教育できる機会があればいいと思う。また、会場として、アクリエひめじや駅周辺の空き店舗を活用できればと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs 未来都市について、具体化はこれからと思われるが、若い外国人を迎え入れて同世代の日本人と共に学ぶという取組が重要と考える。初等中等教育段階での交換留学生在が構想されている点は優れた取組と考えるが、姫路市には姫路獨協大学や兵庫県立大学などがあるので、そこへ大学1年生から留学生を迎え入れる支援制度などを作って、大学1年生から4年間かけて、より高度な外国人材を姫路市で育成すればさらに大きな成果が得られるのではないかと。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs 未来都市の選定を機に、市民にSDGsをもっと周知してほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路市がSDGs 未来都市に選定され、今後様々な取組を行っていくと思われるが、金融機関として姫路市と包括連携協定に基づき、課題解決や提言活動に協力したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度より総合計画に統合されたひめじ創生戦略については、各分野、各事業における取組みを計画どおり進めていただきたい。</li> <li>・SDGs 未来都市プロジェクトの主軸である国際人材（グローバル人材）の育成については、経済、社会、環境の新しい価値創生を実現しながら環境を整え、SDGs マインドを持った若者、人材を育て、持続可能な社会の実現を目指して次世代につながる取組をお願いしたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs を理解している市民はまだ少ないと思われる。SDGs の内容を市民に理解してもらい、自分で何ができるか考え、実践していただけるよう</li> </ul>

委員	<p>に周知すべきと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ これからの未来は若者の感性をとりいれないと衰退する。物を所有することに価値をおいてきた世代にとって、物を持たずにシェアする感覚の若い世代の考え方が <b>SDGs</b> だと思われる。高校生がお飾りではなく、本気で取り組んでくれる事業になって欲しい。</li></ul>
----	---